

提案No.4：障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) つながりの場の創出 と交流の促進	引きこもりの人とつながる場の設置（安心できる居場所の提供）	お互いの悩みを語り合える場の設定（ピアサポートグループの形成）	同じ環境下の人同士の交流会の実施（支援者・当事者が交流できる機会）	福祉フェスタと就業イベントのジョイント開催（交流と就労支援の融合）	参加しやすい講演会の実施（障がい・孤立問題について知る機会の提供）
(2) 就労支援の強化	障がい者の働く場所の拡充（企業との連携、作業所の新設）	困りごとを持つ人と地元企業のマッチング（働きやすい環境の提供）	大企業の障害者雇用枠の課題整理と改善提案（企業側の理解促進）	挑戦者を地域住民に紹介する場の設置（広報活動・マッチングイベント）	失敗を讃えるカルチャーの醸成（失敗談の共有と考える機会の創出）
(3) 相談支援と情報提供	悩みを話せる場の設置（カウンセリング・相談会の実施）	市民相談窓口の設置・強化（福祉や雇用に関する相談の一本化）	支援施設の情報提供の充実（市民への認知拡大）	こども園・保育園・幼小中高に相談窓口のチラシを配布（早期支援の周知）	ICTの活用による悩み相談の提供（オンライン相談窓口の運営）
(4) 市民の理解促進と ネットワーク形成	障がいを「正しく」知るための啓発活動（講演会・勉強会の開催）	市民による自主結成ネットワークの支援（関心のある市民の組織化）	地域の人に関心を持ってもらうイベントの企画（福祉に対する理解の促進）	民生児童委員への啓発（地域支援者の育成）	自分ごとにする仕組みづくり（ケーススタディの共有）
(5) 活動資金・拠点の確保	活動資金の調達（クラウドファンディング、企業・行政からの助成金活用）	廃校を活動拠点にする取り組み（地域資源の有効活用）	(6) 防災・自治会との連携		災害時に備えた自治会での情報共有（要支援者リストの整備）
					自主防災ネットワークの形成（地域の助け合いの仕組みづくり）

提案No. 5：学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) 学び合いの場の創出	学ぶ場の設置 (コミュニティセンター・公民館の開放、出前講座の実施)	地域の有識者の話を聞く機会の提供 (講演会・ワークショップの開催)	オンライン講座の活用 (遠隔学習の機会提供)	公立大学での社会人向け講座の実施 (地域住民のリカレント教育推進)	老人会やサロンへの出前講座 (世代を問わない学び支援)
(2) 地域住民の交流と学びのネットワーク形成	集う場・集う機会の増設 (地域サークル活動やボランティア活動の促進)	大人と子どもが相互に教え合う場の提供 (世代間交流型の学習プログラム)	様々なノウハウや経験を共有する場の創出 (剪定・DIY・歴史・文化講座など)	地域特性に沿ったネットワークの構築 (興味関心別のグループ形成)	新しいコミュニティの形成支援 (地域住民が主体となる学びの場)
(3) 学びを実践につなげる環境整備	学びを実践に移せる場の設置 (地域課題の解決に向けたプロジェクト型学習)	地域課題の解決に向けた大学と地域の共同研究 (産学官民連携による課題解決)	学びたいことのアンケート調査の実施 (ニーズを把握し、学びの場を設計)		
(4) ICTの活用と情報提供	ICTを活用した学びの機会拡充 (オンラインセミナー、動画教材の活用)	学びに関する情報やコンテンツの提供 (学習機会をまとめたポータルサイト運営)	地域サークル活動やボランティア情報の発信 (地域の学び活動を可視化)		

提案No. 6：動画やデジタルを活用した「ICT教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細かな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていこう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) ICT教育の推進と学びの多様化	オンラインを通じた学びの拡充（遠隔教育、デジタル教材の活用）	ICTに触れる機会・環境づくり（学校・地域でのデジタル学習の推進）	一人ひとりの状況に即した学びの細分化（個別最適化された学習支援）	ICTの長所と短所を学ぶ機会の提供（ワークショップ・リテラシー教育）
(2) デジタルとアナログの共存と情報共有の仕組みづくり	ICTに代わる情報共有の仕組みの整備（アナログ・デジタル両方の手段確保）	自治会利用ルールの策定（ICT活用のガイドライン作成）	デジタル活用事例の共有（成功事例を集め、地域で共有）	
(3) 世代を超えたICT活用の支援	スマホの便利な使い方講座（高齢者・初心者向けのICT講習会）	高齢者にも使えるICTの導入と支援（シンプルで使いやすいツールの普及）	ICT活用のサポート体制の整備（地域での相談窓口の設置）	
(4) AI・デジタル技術の活用促進	AIを活用した福祉・教育の活用提案（データを活かした支援システム）	防災情報や害獣情報の提供（ICTを活用した地域情報配信）		

提案No.9：多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくろう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) ネットワーク形成 と情報発信	地域内企業で働く若者 ネットワークの構築	異業種交流・学生を含 めたアイデア創出の場 の提供	小規模企業同士のネッ トワーク形成・共同組 織の設立支援	
(2) マッチングの 仕組みづくり	仕事を提供している場 の一括発信（オンライ ンプラットフォーム）	マッチングサイトの運 営（スキル・希望条件 に応じた仕事探し）	中高年経営経験者の兼 業リクルートと経験の 共有	魅力ある企業の情報発 信と、多様な働き方を 実践している企業の認 定・公開
(3) 企業との連携と 新たな経済活動の創出	海外の人にセカンドハ ウスを販売し、地域と の関わりを創出	お金を持っている人同 士のネットワーク形成 （投資・協業機会の提 供）	観光、仕事、通訳の分 野での新たな雇用創出	兼業を可能とする環境 整備（企業側の理解促 進）
(4) 特定のターゲット向け の施策	専門家等によるワーク ショップの開催（多様 な働き方の紹介、スキ ルアップ支援）	どのような働き方や目 的があるかを語り合う 場の提供	成長している地元企業 の採用拡大支援	
(5) 学びと意識改革の促進	提供する仕事の意義や やりがいを表現し、仕 事の魅力を発信	スキルを持つ人材の活 用と適正な処遇の検討	人材不足の解消による ワークライフバランス 向上支援	半仕事半X（例：地域 活動、趣味）を活かし たネットワーク形成

提案No.10：福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) 住環境の整備と定住促進	周辺地域に住みながら大学に通える交通・住宅支援の充実	市内の古民家を活用したオフィスの整備（コワーキングスペース、起業促進）	学生向けのシェアハウスの整備と低コストでの提供	廃校した小学校の活用による企業誘致や学生支援拠点の整備
(2) 大学と企業の連携強化	学生が得意なことを活かした地域貢献プロジェクトの創出	大学の研究テーマと地域課題のマッチング支援	企業・行政サービスの紹介媒体の制作・発信	大学と企業の連携の場の創出（定期的な交流イベント・産学連携プロジェクト）
(3) 企業誘致と産業振興	工業団地の拡張および起業支援のための用地拡大	既存企業の成長支援と地域ベンチャー企業の育成	成長する新規ビジネスの発掘と支援	福知山市の学研都市化の推進（産学官連携の強化）
(4) 観光・国際化と情報発信の強化	企業・住民による福知山の魅力の整理と情報発信の充実	オニオニツアーガイド（英語・中国語対応）の整備と観光産業の強化	グローバル展開企業（例：ホアンカン）への誘致支援	(6) 雇用機会の拡大 大学生が地域に根ざすためのキャリア支援（インターンシップ・起業支援）
(5) 農業の新たな可能性の創出	しっかりと稼げる農業の仕組みづくり（収益性の高い農業モデルの導入）	有機農業で稼ぐための支援施策（販路拡大、ブランド化）		学生向けの公務員採用数の拡大（インターン・採用枠の拡充）

提案No.11：意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう

① 提案の具体化に向けて考えられる取り組み

(1) 起業家の支援環境の整備	成功事例から学ぶ場の提供 (ロールモデルの紹介、起業家の講演会)	起業家の熱意を知る機会の創出 (ピッチイベント、地域との交流会)	起業後の伴走支援 (メンター制度、資金調達支援)	福知山での本気の起業塾の開催 (実践的な起業支援プログラム)	学生ベンチャーの起業支援 (大学と連携したアクセラレーター制度)
(2) 起業家を受け入れる地域づくり	起業家と地域の理解を深める取り組み (地域住民との交流イベント)	よそ者に優しく接する文化醸成 (多様性を尊重する意識改革)	年齢多様性の受容促進 (若者・シニア起業家の交流支援)	挑戦者を地域住民に紹介する場の設置 (広報活動・マッチングイベント)	失敗を讃えるカルチャーの醸成 (失敗談の共有と考える機会の創出)
(3) 起業環境のインフラ整備	空き家を活用したオフィス整備 (コワーキングスペース・シェアオフィス)	税制優遇措置の検討 (起業家向けの減税・補助金)			
(4) 起業を支える情報・ネットワーク強化	情報を各機関で共有する仕組みの構築 (ワンストップ窓口の設置)	企業・大学・住民の対話の場の設定 (産学官民連携の促進)	安定思考のマインドを変える啓発活動 (成功・失敗事例の発信) 援		